

JR上野駅『文化創造 HUB』 ステンドグラス《昭和六十年春 ふる里・日本の華》の一般公開を再開 あわせて東京藝術大学と連携した上野駅構内のアートツアーを開催します

- JR東日本グループは、グループ経営ビジョン「勇翔 2034」に掲げるライフスタイル・トランスフォーメーション(LX)実現に向け、JR上野駅を『文化創造 HUB』として位置付け、「文化」を通じて、「ひと」と「まち」・「地域」をつなぎ、新たな価値を創造しています。
- 2025年夏より補修を進めていた平山郁夫(ひらやま いくお) ステンドグラス《昭和六十年春 ふる里・日本の華》は、このたび補修作業が完了し、10月7日(水)より新幹線改札内で、一般公開を再開しました。
- また、JR上野駅における豊かなアート体験創出を目的に、東京藝術大学と連携し、駅構内のアート作品を巡るアートツアーを開催します。

1. 平山郁夫 ステンドグラス《昭和六十年春 ふる里・日本の華》の補修・移設

1985年(昭和60)の東北・上越新幹線上野駅開業を記念し、東京藝術大学の平山郁夫教授(当時)が原画を描き下ろし、制作・監修したステンドグラス《昭和六十年春 ふる里・日本の華》は、JR上野駅グランドコンコースの自動券売機上に展示され、長年にわたり多くのお客さまに親しまれてきました。

本作品は2025年夏より補修を進めていましたが、このたび補修が完了したことから、10月7日(水)より新幹線改札内で一般公開を再開しました。

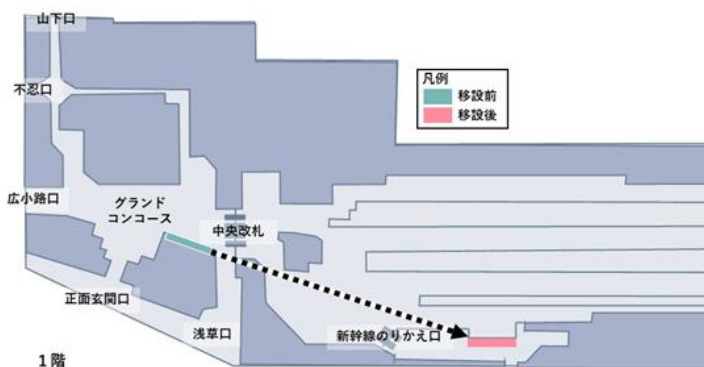
これまで見上げて鑑賞していた作品をより観賞しやすい高さでご覧いただけるようになったことで、ステンドグラスの繊細な技法や細部の意匠、平山郁夫教授の遊び心あふれる表現など、新たな魅力をお楽しみいただけます。

企画:公益財団法人日本交通文化協会

ステンドグラス制作・補修:クレーレ熱海ゆがわら工房



平山郁夫 ステンドグラス
《昭和六十年春 ふる里・日本の華》(移設後)



移設位置図

2. JR上野駅構内アートツアーについて

包括連携協定を締結している東京藝術大学と連携し、JR上野駅構内のアート作品を巡るアートツアーを開催します。参加者同士の対話を通じて、今回補修を終えた《昭和六十年春 ふる里・日本の華》や、2026年3月に3度目の修復を終えた猪熊弦一郎氏の壁画《自由》など、JR上野駅構内のアート作品の新たな魅力や駅の新たな楽しみ方を発見する参加型プログラムです。

名 称：JR上野駅アートツアー

開催日時：2026年11月15日(日)

【第1回】10:00～11:30 【第2回】14:00～15:30

講 師：林卓行(はやし たかゆき)

東京藝術大学 美術学部 芸術学科 教授

開催場所：JR上野駅構内

参 加 費：1,000円(税込)

申込方法：JRE MALLチケットでの事前予約制

<https://event.jreast.co.jp/activity/detail/a002/a002-538>

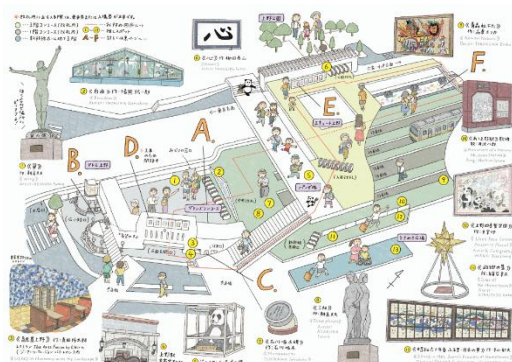
申込開始：2026年10月15日(木) 10:00



ツアーイメージ

3. その他

JR上野駅では、駅構内に点在するアート作品を紹介する「うえの駅まると美術館探索マップ」を配布しているほか、WEBサイトでも5か国語(日・英・韓・簡・繁)で各作品の魅力や見どころを紹介しています。



うえの駅まると美術館探索マップ



WEBサイト

※本プレスリリースに掲載の画像は全てイメージです。

※内容は変更となる可能性があります。

※《昭和六十年春 ふる里・日本の華》は準備が整い次第、WEBサイトに掲載します。

※上野駅は今後も駅改良工事を予定しています。